

島田市総合防災訓練

「命」を守るリハーサル

今年度は、地震などの大規模災害発生を想定し、より具体的な「人の動き」「救援物資の運搬」などについて訓練します。小中学生・高校生も、積極的に防災訓練に参加しましょう。

◎危機管理課 36・7143



共助で高める地域の防災力



1 会場型訓練

とき／8月27日(日) 午前9時(同報無線によるサイレン吹鳴)

五和小学校体育館

◎避難所開設・運営訓練(協力／静岡市消防局)

五和小学校グラウンド

◎緊急輸送路啓開訓練(協力／島田警察署、陸上自衛隊、静岡市消防局、中部電力(株)島田営業所、(協)島田建友会、大鐘測量設計(株))

◎初期消火訓練(協力／静岡市消防局、島田市消防団)

◎はしご車訓練(協力／静岡市消防局)

◎し尿処理訓練(協力／(株)エスイーシーディング、(有)金谷環境、(有)かわね環境、(株)山益衛生、(有)島田環境保全センター、(株)富永事業)

ローズアリーナ

◎物資受入・集積・搬送訓練(協力／(株)山岸運送)

養護老人ホーム「ぎんもくせい」

特別養護老人ホーム「あすか」

◎福祉避難所開設・運営訓練

◎し尿処理訓練

金谷小学校

◎救護所開設・運営訓練(協力／島田市医師会、島田歯科医師会・島田薬剤師会)

◎避難所から各家庭への救援物資配分訓練

2 自主防災会の訓練

各町内の訓練日時や内容は、自主防災会により異なります。地元自主防災会などからの通知を確認しましょう。

3 家庭でできる訓練の例

○電話不通時の家族間の安否確認方法と集合場所の確認
○災害時の行動確認(電気のブレーカーを落とすなど)

○避難場所と避難経路の確認
○7日分の水・食料、生活必需品、非常電源(乾電池など)、常備薬などの点検・整備
○「黄色い旗」の掲出・確認
○消火器などの取り扱いや使用期限の確認
○夜間災害発生時の行動確認

4 災害用伝言ダイヤル「171」

NTTの災害用伝言ダイヤルは、安否情報などを音声で登録・確認できるサービスです。家族や友人間で体験してみましよう。

【体験利用可能日】

8月27日(日) 午前0時～午前11時30分(島田市内のみ)

8月30日(水) 午前9時～9月5日(火) 午後5時

毎月1日・15日の午前0時～午後12時(深夜)

災害から「命」を守る準備と行動

災害時には、住民による「自助」はもちろん、地域や防災関係機関との「共助」「公助」が大きな役割を果たします。起こりうる災害に向けて、初動体制および災害対応力の強化を図り、防災に強い地域を作りましょう。

道路啓開訓練 「緊急輸送ルートの確保」

大規模災害時には、人命救助や救済物資の輸送、各地からの応援部隊や緊急車両を受け入れるため、緊急輸送ルートを早急に確保することが求められます。ルートは定められており、発災初期の段階で通行可能かどうかを確認します。がれきなどの障害物があれば取り除き、通行できるようにしなければなりません。しかし、実際にどのように通行できない場所を発見し、誰がどのような作業をするのかといった具体的な行動は、日頃なかなか訓練できません。今回は、市内建設業者・自衛隊・警察・消防と連携し、五和小グラウンドにおいて、災害時に近い形で道路啓開作業などの訓練を行います。

物資受け入れ・集積・搬送訓練 「救済物資が家庭に届くまで」

市では、全国から届く緊急支援物資の物資集積所を「ローズアリーナ」「金谷体育センター」「川根文化センターチャリム21」と定めています。この物資集積所から各避難所へ、どのように物資を卸して集積・管理し、積み込みや配送をするのか、車両・資材・人員を配置してローズアリーナで検証します。また、自主防災会から各家庭までの物資の流れも検証します。

福祉避難所開設運営訓練 「要配慮者の暮らしを守る」

災害時に家屋が被害を受け、自宅にとどまれない場合、しばらくの間は避難所で生活することになります。避難者の中には、高齢者や障害者など、事情により避難所での共同生活が困難となる人もいます。市では、生活への配慮や支援が必要な「要配慮者」の避難所として、福祉避難所を開設します。

今回は、災害時の協定を結んでいる養護老人ホーム「ぎんもくせい」と特別養護老人ホーム「あすか」の協力により、福祉避難所の開設要請から開設準備、避難者の受け入れまでを行います。

そのほか本年度、新たに実施する訓練は、次のとおりです。
●はしご車訓練／島田消防署に更新配備された「はしご車」を使用し、救出訓練を実施。



最新式はしご車

●し尿処理訓練／島田環境組合の協力により、し尿処理の調整・実動の訓練を実施。

はじめましょう

「わが家の地震対策」

◎建築住宅課

☎36・7184

東

海地震がささやかれるようになってから「阪神淡路大震災」「東日本大震災」「熊本地震」など、次々と大きな地震が起こり、他人事ではなくなりました。災害に對し備え、家族を守る努力をするのは当然の事だと思えます。

工

事に際し費用面を心配しましたが、事前に市に相談することで、補強が必要な箇所と、それに掛かる費用を知り、信頼できる業者に依頼する事もできました。工事の計画や耐震工事費には補助金を利用でき、思っていたより出費を抑えられ、本当に助かりました。



いとうかつのり えつこ
伊東克則さん・悦子さん
(金谷天王町)

未来に備える Q&A

今回の訓練に関連する地震災害時の注意事項とミニ知識を紹介します。

Q

車を運転中に地震が発生！
どう行動する？

A

地震発生時は、タイヤがパンクした時のようにハンドルがとられ、車体が激しく揺れます。この場合は、かなり大きな地震と判断しましょう。震度が小さい場合は、車のサスペンションで吸収され、気が付かないことがあります。

【安全を確保するために】

- ①しっかりとハンドルを抑え、徐々にスピードを落としましょう。ハンドルから手を離したり、急ブレーキをかけるのは危険です。
- ②ハザードランプを点滅させるなど、周囲の車に注意を促しましょう。
- ③道路の左側に停車しましょう。
- ④慌てて車外に飛び出すと危険です。揺れが収まるまで、そのまま車内に待機し、ラジオなどで地震情報や交通情報を確認しましょう。
- ⑤車を置いて避難する場合は、でき

るだけ道路以外の場所に駐車しましょう。やむを得ず道路上に駐車する場合は、左側に寄せてエンジンを止め、施錠せずにキーは付けたまま避難しましょう。



大きな亀裂が生じた道路 (熊本地震)

【注意事項】

大規模地震災害に関する警戒宣言が発せられた場合、車による避難は禁止されます。

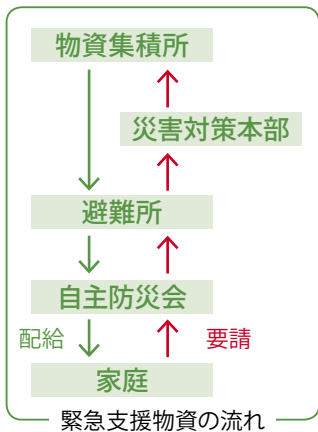
大きな被害が出ていない地域でも、緊急車両以外の通行の禁止・制限が行われることがあります。

Q

災害時に緊急支援物資を受け取るには？

A

災害時には、市で備蓄している食料・生活用品などのほか、



全国から届く支援物資を避難所や自主防災会を通じて、無料で提供します。事前に、お住まいの地区の指定避難所(学校など)を確認しておきましょう。

Q

日常生活に支援が必要です。福祉避難所に入るには？

A

福祉避難所への入所は、市が定める避難所対応にあたる市職員(現地避難地班)にご相談ください。避難所から災害対策本部へ連絡し、福祉避難所へ受け入れを要請します。

施設の受入体制を確認後、家族や避難所運営組織(自主防災会など)が移動手段を手配し、福祉避難所まで入所者運びます。

Q

断水時、家のトイレは使えないの？

A

下水道が使用できない場合は、市から同報無線などでお知らせします。下水道が使用できない場合は、バケツなどに水を用意し、トイレの排水レバーを作動させながら、直接便器に水を流せば使えます。浄化槽の場合は、数日間であれば、同様に使えます。

大地震のあった地域では、断水が1カ月及ぶことは珍しくありません。非常用の簡易トイレなども、事前に用意しておきましょう。

耐震補強の「3つのステップ」

STEP ① 無料耐震診断

▼市が専門家(静岡県耐震診断補強相談士)を派遣し、耐震診断を実施。住宅が地震に対してどの程度の耐力があるのか調査し、結果を説明します。
申し込み/電話で建築住宅課へ(随時受付)

STEP ② 耐震補強計画策定

▼どこをどのように補強していくのかを検討し、耐震補強計画を作成。
補助額/費用の3分の2以内(上限額9万6000円)
※高齢者世帯は費用の全額(上限額14万4000円)

STEP ③ 耐震補強工事実施

▼耐震補強計画を基に、耐震補強工事を実施。
補助額/上限額60万円
※高齢者世帯などの補助上限額は、80万円。
※今年度に限り、PRにご協力いただける場合は15万円を上乗せします。
PR条件/▽必須「耐震補強工事実施中」の看板の掲示▽次のいずれかを選択
①耐震補強工事を実施した動機文と工事完成後の写真の提出 ②現場見学会または完成見学会の実施